

# 硬筆指定課題 評価の観点

## 《中学楷書》

大平恵理 書

始めに、姿勢と筆記具の持ち方を確かめます。  
正しく整えて読みやすく書くことが大切です。「止め・はね・はらい、線  
の長さや方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線の接し方と  
交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。  
手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| 解 |  | 文 |  |
| 尊 |  | 化 |  |
| 合 |  | 生 |  |
| 存 |  | 活 |  |
| 世 |  | 中 |  |
| 切 |  | 人 |  |

説明の記号

長さ

方向

曲がり

広いあき

狭いあき

同じ広さのあき

注意するところ

外形

一字一字の外形、文字の大きさや幅、行の中心、配置などを考えて、真っ直ぐ書くようにしましょう。半分の高さで見当をつけ、バランスよく収めるようにします。

|   |            |
|---|------------|
| ① | これから時代は、異な |
| ② | これから時代は、異な |

※わくの両はじの「・」は1/2の高さを示しています。

氏名は上と下のあきをそろえて、かだいの文字より少し小さめに書きます。

中